

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回8月の「てがたん」は8月11日(土)で「手賀沼の中の生き物観察」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**8月4日(土)**です。よろしくお願いたします。

7月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→桃山公園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年7月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 16名(大人12名、子ども4名)
- 市民スタッフ 8名(木村稔、窪田憲史、玄地昭八、須貝基康、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(齊藤安行、村松和行)

観察記録 ー7月てがたんで観察した生き物リストー

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カウウ/サギ科：ダイサギ/カモ科：カルガモ/ハト科：キジバト/キツツキ科：コゲラ/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス、オオヨシキリ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：ホオジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ

【魚類】

メダカ科：メダカ/ドジョウ科：ドジョウ

【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル/ダルマガエル科：トウキョウダルマガエル/ウシガエル科：ウシガエル(幼生)

【甲殻類】 サワガニ科：サワガニ/オカダンゴムシ科：オカダンゴムシ

【ヒル類】 ヒルド科：ウマビル

【昆虫・クモ】

トンボの仲間：ノシメトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウチワヤンマ/ハエ・アブの仲間：シオヤアブ/甲虫の仲間：マメコガネ、コガタリハムシ/カミキリの仲間：ノコギリカミキリ、ゴマダラカミキリ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ(幼虫)、ヒシバッタ、ヒメギス(声)、マダラスズ、ケラ/カメムシの仲間：ニイニイゼミ、アメンボ、ヒメアメンボ/ハチの仲間：ハグロハバチ(幼虫)、ヒメハラナガツチバチ、サトジガバチ/チョウの仲間：ヒメアカタテハ、モンシロチョウ、キチョウ、コチャバネセセリ、ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、クロアゲハ

【花】

キク科：ノゲシ、ヒメジョオン、チチコグサモドキ、ハキダメギク、ノボロギク、ブタナ/タデ科：ミズヒキ、オオイヌタデ、アレチギシギシ/ヤマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ/ツユクサ科：ツユクサ/アカネ科：ヘクソカズラ/カタバミ科：カタバミ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ、ヒルザキツクミソウ、メマツヨイグサ/ムラサキ科：キュウリグサ、ハナイバナ/オモダカ科：ヘラオモダカ、オモダカ/イネ科：エノコログサ/ナス科：アメリカイヌホオズキ/ミソハギ科：ミソハギ/ヤマブキ科：ヤマブキ/キンポウゲ科：キツネノボタン、ケキツネノボタン/ガマ科：ガマ、ヒメガマ/ユリ科：ノカンゾウ/セリ科：ミツバ/ブドウ科：ヤブガラシ/アヤメ科：ニワゼキショウ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/マメ科：シロツメクサ、アカツメクサ/オオバコ科：オオバコ/オトギリソウ科：オトギリソウ、キンシバイ/ヤブコウジ科：ヤブコウジ/スベリヒユ科：ハゼラン/クマツヅラ科：コムラサキシキブ(植栽)/ハス科：藕糸蓮*(植栽)/ツリフネソウ科：ホウセンカ(植栽)/アジサイ科：ガクアジサイ(植栽)

*栽培品種名

7月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「生物から見たてがたんコースの環境」でした。我孫子の地形や歴史についてのお話を通して、てがたんコースの環境について調べました。

先月の観察時に比べ、トンボの種類が増えたり、ニイニイゼミの声が聞こえたりと夏らしい観察会になりました。



今月の案内人：松村定雄さん 玄地昭八さん



1 ヤブガラシの蜜を吸うコチャバネセセリ



2 香取神社で見つけたヤブコウジの花



3 ヨウシュヤマゴボウの花には花びらはなく、がくが花びら状になっている



4 ノコギリカミキリの幼虫は生木ではなく倒木や腐朽木を食べる(写真は成虫)



5 薄い紫色がきれいなコムラサキシキブの花



アカタテハの幼虫

丸まったカラムシの葉を開いてみると、アカタテハの幼虫を見つけました。フクラスズメなどもカラムシを食草とします。



7月てがたんの観察生物とルート



オトギリソウと鷹の関係

漢字では弟切草と書きます。オトギリソウを鷹の傷を治す秘薬としていた鷹飼いが、その秘密をもらした弟を斬ったという伝説が名前の由来です。



12 ケラの体をよく見ると体が土で汚れないように細かい毛が生えている



11 ミソハギの蜜を吸うヒメアカタテハ



10 エゴノキにできる虫コブは「エゴノネコアシ」と呼ばれ猫の足のようにみえる



9 桃山公園で見つけたノカンゾウ



8 桃山公園で見つけたサトジガバチは地中に穴を掘り、ガなどの幼虫を狩る

今月の鳥 カワウ

(ペリカン目ウ科) 全長：約80cm

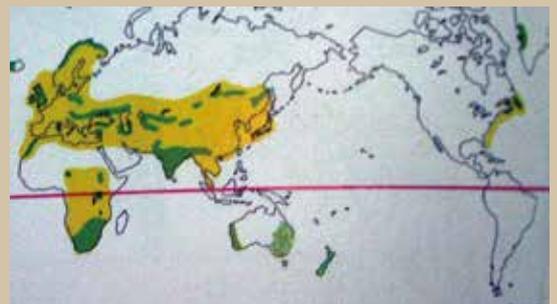
日本では全国的に分布し、本州、四国、九州で局地的に繁殖しています。手賀沼では繁殖していません。繁殖期になると頭部に白色の羽毛が出て腰の両脇に白い斑が入ります。

水かきのついた足を使い、尾を舵にして水中を巧みに泳ぎながら、先ががぎのように曲がった嘴で魚や甲殻類を捕まえます。

杭に止まり、翼を広げて濡れた羽毛を乾かす姿を手賀沼でよく目にします。



カワウ



カワウの分布図

分布図の色 留鳥 夏鳥 冬鳥